

## 令和4年 第9回全員協議会会議録

令和4年7月8日 議員控室

### ○事 件

町長報告事項

(1) 国保病院建替事業について (熊石国保病院)

### ○出席議員 (13名)

議長 千 葉 隆 君  
赤 井 睦 美 君  
横 田 喜世志 君  
関 口 正 博 君  
三 澤 公 雄 君  
安 藤 辰 行 君  
能登谷 正 人 君

副議長 黒 島 竹 満 君  
佐 藤 智 子 君  
大久保 建 一 君  
倉 地 清 子 君  
牧 野 仁 君  
斎 藤 實 君

### ○欠席議員 (1名)

宮 本 雅 晴 君

### ○出席説明員 (6名)

町長 岩 村 克 詔 君  
総務課長 竹 内 友 身 君  
国保病院事務長 福 原 光 一 君

副町長 成 田 耕 治 君  
財務課長 川 崎 芳 則 君  
国保病院次長 小 池 克 明 君

### ○出席事務局職員

事務局長 三 澤 聡 君  
庶務係長 松 田 力 君

事務局次長 成 田 真 介 君

〔開会 午前10時27分〕

### ◎ 開会・議長挨拶

○議長（千葉 隆君） それでは、本会議に引き続いて、第9回全員協議会を開催いたします。  
議長挨拶は割愛します。

### ◎ 町長報告事項

○議長（千葉 隆君） 町長報告事項（1）国保病院立替事業についてのご報告を、熊石国保病院よりお願いいたします。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 国保病院立替事業につきまして、先般ですね、全員協議会で病院の後の打ち合わせで報告をさせていただきました。そのうえで議会と町とで、要望いただいた熊石の連合町内会、さらに熊石敬愛会の皆さんに説明をさせていただきました。そのときに町内会から持ち帰って、町内会と話し合いをしてから結論を出すという話でありましたので、7月5日に町内会連合会の会長さん、副会長さんと結果をですね、いただきました。結果につきましては、大変、町内会の中でも45でいったほうがいいという意見も多くありましたけれども、その中でこれからの熊石のことを考えても早く建てたほうがいだろうという結論に達しましたので、快くではありませんけれども、了承するということでありますので、計画的には、前回、全員協議会で報告したとおり計画を進めていくということで、ここで報告させていただきます。以上であります。

○議長（千葉 隆君） それでは今、報告受けたことについて、前回の全員協議会におきましては皆さんの個々の意見や考え方を伺っておりますので、報告を受けて、この報告の中身についての質疑がございましたら受けていきたいと思いますが、皆さんのほうから質疑はございませんか。

○11番（斎藤 實君） はい。

○議長（千葉 隆君） 斎藤議員。

○11番（斎藤 實君） 今、町長が言ったように、町内会長、誰も納得はしておりませんよ。町民の皆さんからも非常に、どうなってるんだという声ですね、非常に多く出ております。コロナ禍の中で、30床にしたら、今、コロナ禍、そしてまたインフルエンザでもって、いろいろ病床考えながらやっていく部分、そういうものまで全くなくなるのかと。一時的にも、そういうものに対応するものってどうなんだろうかって。そういうものまで削ってしまうのかと。何のための病院なんだと。こういう声が多く聞かれております。

そして、現実的に30床になりますと、今、現在入院している患者さん方も、どこかに行かないとないんだねと、こういう声もありました。私も直に、斎藤さん、子どものところに行くわと。ここでもって入院できないというんだったら、子どものところに行って、ホームに入って、その後、身体が悪くなったら、病院に入ることになるんだろうと。熊石でそれが叶わないというなら、熊石を後にしたほうがいいのかではないだろうか。こういう声も年寄りから出ておりました。

私はこれまでいろんなことで町長とも話し合いしましたがけれども、何よりも大きく負担をかけていない一般会計に負担をかけていない国保病院が、こんなことになってしまうんだろうかと。収益

が下がるわけですから。初めからそしたら赤字になること覚悟してやっているのかと。こういう声までやっぱり町内会の会長さんの一部から2、3日経ってから聞こえてきました。斎藤さん、なんでもありだねって。権力持つということは非常にやはり人を変えるんだねと。あれだけ熊石のために何とかしようって、町民に向けていろいろ話してきた岩村町長が、なんで権力を持って、こういう状況になっていくんだろうかって。こういう声まであるんですね。

私はやはり、これまで熊石の地域でもっていろんな活動の中です、町民が安心して暮らせるまちづくりの基本は、やはり総合支所があって、病院、福祉があって、初めて完結するのではないんだろうかと。これを、病院は残すと言いながら30床であれば、もう14、15年後でもいいんでないのという声まで出ていました。私は以上のことから、熊石をやはり大事にするといいながら、こういう状況まで追い込んできた岩村町長にはですね、過疎債や合併特例債は使う権利はないと、このように考えています。

(何か言う声あり)

○議長(千葉 隆君) 斎藤議員さん。

○11番(斎藤 實君) はい。

○議長(千葉 隆君) ちょっと待ってください。斎藤議員さんね、冒頭、私が言ったように、考え方や意見は前回、全員協議会でお話をしたので、今回は、町長が冒頭でお話ししたように、議会のほうも、ある程度全体の意見ということでまとめて、そして請願をいただいた皆さんにも説明に行きました。そしてそれを受けて、町内会の連合会から7月5日、答えが来ましたよと。

その中でいろいろあったけれども、最終的には連合会として30床の建設を認めますというお返事をいただいたという報告を今いただいたので、その報告を受けたことについてのみ質疑をしますので、斎藤議員さんが、今後いろいろな考え方があるということにつきましては、前回の全員協議会で最終的に全議員で確認しましたが、それぞれの考え方については、これから行われる手続き、委員会や本会議で発言したり、表明してほしいということでお話ししておりますので、斎藤さんの考え方を今ここで述べるということではなくて、町内会連合会が、30床で建設を受け入れたということについて質疑を今、受けていますので、そういうことで了承願いたいと思います。ですから、了承を受けたことについて連合会が、そのことについて質疑があるなら受けますけれども、あるんですか。

○11番(斎藤 實君) はい。

○議長(千葉 隆君) 斎藤議員。

○11番(斎藤 實君) そしたら行政のほうから町内会に結論出してくれって言ったんですか。

(何か言う声あり)

○議長(千葉 隆君) 斎藤さん、もう一度説明しますけれども、請願を持ってきたのは町内会連合会と敬愛会ですから。だからそれを請願について回答というかお答えを理事者側と議会側でしましたと。それについてまた、本来はおかしいんですけども、再度、考え方をまとめて持ってきたと。その最終的に持ってきた中身というのは30床で、早期に建設してくださいというものだったんです。ただ、中身についてはいろいろ議論はあるとお聞きしていますけれども。ですから。

○11番(斎藤 實君) そしたら結論出さないなら出さなくても良かったということでしょ。町内会の会長さん方は。

○議長（千葉 隆君） 持ってきたんだから。だから、話し合っただけで役員が出てきたんだけど、もう一回全体で話し合いたいというふうに言ってきて、そしてその答えが7月5日に最終的には30床で建設して苦渋の選択をさせていただきましたという回答だったということです。そういうことでいいんですね。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 駄目だとか、いいとか、そういうのもあるかもしれないけれども、最終的には30床の建設で了承するという答えをもらったということなんです。その辺はもう一度町長から。

○町長（岩村克詔君） 結局、結論出すとか出さないとかというよりも、町民の中は町側にいろんな要望はあると思います。それを私もしっかりとお聞きしながら総合的に判断していると。その中でまた議会と話し合いしながら、この件につきましても、全員協議会で話し合いながら方向性をある程度決めたと。先ほど議長さんからあったとおり、要望が出たのは連合町内会、それと敬愛会さらに病院側も、議員が代表して病院側の意見を持ってきたいただきました。それでやはり我々としては病院側の意見が一番大きいだろうということで、病院側とよくよく話をしながら、今の方向性を30床ということで、ある程度ですね、はっきりと病院側と方向性を付けたと。

そのうえで議会の皆さんに説明して、議会の皆さんも賛否ありましたけれども、方向性については、いいだろうということでありましたので、町内会と敬愛会のほうに、議会と町と一緒に、両方にありましたので、一緒になって報告をさせていただきました。その中で連合町内会から役員と、さらに町内会、さらに揉んで方向性を出すということでありましたので、それも7月いっぱいまでに出すと話を受けましたが、先般、7月5日に連合町内会から、まとまったので、ということで報告を受けたのが先ほど説明した苦渋の決断をして、早く建てたほうがいいだろうということで、30床で場所もそこでいいということで受けたということでもあります。

ただ、先ほど私も熱くなりましたけども、斎藤議員さんに、過疎債使わせないと、合併特例債、町長に使わせないとという言葉は、ちょっとあまりにも行き過ぎていると私は思うんです。

○11番（斎藤 實君） 私はそう思いません。

○町長（岩村克詔君） もしそれだったらね、もしそれだったらちゃんとやりましょうって。

○議長（千葉 隆君） だから論点がずれていますので、合併特例債とか過疎債を使う使わないは、この件と別の問題ですし、そういう非現実的な議論を展開して、この全員協議会で議論することにはなりませんので。

ほかに質疑はございませんか。

○1番（赤井睦美君） 意見でもいいですか。

○議長（千葉 隆君） 意見というか、意見は皆さんから聞いていますからね。何度も言いますが、報告を受けたことについて質疑があれば。

○1番（赤井睦美君） じゃあ。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1番（赤井睦美君） 今、請願を受けたから、その3団体が報告したということで納得したんですけど、熊石の女性団体のみなさんが、一応、報告のときに呼んでいただいたかったという声で、女性団体は女性団体で集まって話をしたときに、町長が19床と言っていたのが30になったからこ

れはこれで良かったねって結論に達したということを町長に伝えてほしいということでしたので。私の意見ではありませんけれども、一応、お伝えします。

○3番（横田喜世志君） はい。

○議長（千葉 隆君） 横田さん。

○3番（横田喜世志君） 先ほども早く建ててもらったほうがいいという熊石町民の方々の意向もあると思います。それで、この工程スケジュールを見ますと、結構な時間がかかるふうに思うんですけども、これは短縮できないんですか。

○熊石国保病院事務長（福原光一君） 議長、国保病院事務長。

○議長（千葉 隆君） 国保病院事務長。

○熊石国保病院事務長（福原光一君） 机上配付しております2ページ目の工程スケジュール、前回の全員協議会でもお示した工程スケジュールと同様のものとございます。もう一度、（1）の基本設計からやり直して、後に実施設計と、また建設工事と。建設工事自体は13カ月を見てございます。これについては現地建替ではなく新たな場所に障害物がない建物があるということで工期を短縮できると。ただ既存施設から新しい病院施設へ引っ越しをしたのちに、既存施設の解体も含めて（4）解体工事、令和7年5月から令和7年12月の期間を解体工事と考えていますので、全体的な竣工という捉え方としては令和7年12月と考えていますので、よろしくお願いいたします。

○3番（横田喜世志君） はい。

○議長（千葉 隆君） 横田さん。

○3番（横田喜世志君） 壊すのはいつまでかかってもいいぐらいに思っているんです。ただ基本設計、実施設計というか、その建設工事自体に入るのに短縮できないかって話なんですよ。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） それにつきましてはですね、設計屋さんは短縮できるんです。ところが国のほう、道のほうの準備が少しできていけませんので、今、要望を出していますので、その辺はまだまだ不確定でありますけれども、いくらでも先ほど言ったとおり、熊石の住民の方から早くという声もたくさんありますので、その辺は努力しながら、なるべく詰めてやるということは、これから議会に説明していきますが、大体の目途でこれくらいということであります。議会の皆さんからも早くということもありますので、その辺は鋭意努力してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○2番（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○2番（佐藤智子君） 場所が変更になるというのは、やむを得ない部分があるのかもしれませんが、45床というのが30床になるというのは、なかなか納得できない。費用もですね、1億5千万くらいしか圧縮できないわけですね。あと1億5千万あったら45床にできるのであれば、2階建てでも、敷地が広がるのであれば45床でいくという手もあるんじゃないでしょうか。

（何か言う声あり）

○2番（佐藤智子君） 報告についての質問だった。はい。言い直し。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○2番（佐藤智子君） 請願と文書で出てきましたよね。その苦渋の決断でやむを得ないという文書も提出していただきたいと思いますけれども、文書は出ているんですか。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 私は提出するつもりはありません。

○2番（佐藤智子君） あるのかないのか聞いています。

○町長（岩村克詔君） だから提出するつもりはありません。

○2番（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○2番（佐藤智子君） 提出云々はいいいとして、その文書としては届いているんですか。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） もちろん届いています。

○2番（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○2番（佐藤智子君） 回覧するくらいしたらいいんじゃないですか。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 議会に出されたものではなくて、私、町でもらったものであります。これは多分、先ほど話しましたが、議会にも同じものが来てると思います。ただし議会には口頭で説明したというだけだと思いますし、町には文書でよこしたということになると思います。

今回の要望というのは、町側と議会側に同じものが要望があったと思うんですね。その中で議会も、そのために全員協議会やって、議会と町と行って説明したということでありますので、見たければ是非佐藤さん私のところにありますので、個人的に来ていただけたら見せます。

○議長（千葉 隆君） よろしいですか。ほかに。

○4番（大久保建一君） はい。

○議長（千葉 隆君） 大久保委員。

○4番（大久保建一君） 45床は納得いただいたというお話だったんですけども、場所の変更について何かしらのお話はあったのでしょうか。また、ここで納得するということであっても、たとえばアクセスに関しての要望だとか、何かしらのお話があったのかお聞かせください。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） その辺については、場所的なことは、敬愛会の方は場所は良かったと言っていました。ただ、通えない人や、今、雲石にありますので、その辺の方々から、これからのアクセス、やっぱりこれから高齢化するときの交通はしっかりやってほしいという要望はありました。それについては、これからデマンドも考えながらやっていくということで、ご理解をお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） ほかに。なければこれで報告事項を終了いたします。理事者のみなさんご苦労様でした。

## ◎ その他

○議長（千葉 隆君） その他の関係で、クリーン渡島について報告があるようですので、関口議員さんからお願いします。

○5番（関口正博君） はい。先日ですね、渡島廃棄物処理広域連合のほうから、議員であります赤井さんと私のほうに文書が回ってまいりまして、クリーン渡島内において火災の発生ということについての報告でございました。

内容については、これメンテナンス作業中の出来事かと思えますけれども、発熱炉内、要はごみを燃やす炉の中のダストを落とす作業をして、そのダストを落とす際に金属棒かなんかを使っていたらしくて、その棒を足元に置いたところ足元にあった段ボールと電線が焼けてしまったという火事だったようでございます。内容についてはそうなんですけれども、これらの復旧についてはメンテナンスを行っております、株式会社タクマテクノス北海道、これは委託業者になってはいますが、そちらのほうの負担で、すべて行ったということ。そして現状としてはタクマテクノスさんの責任において全て復旧しているということの報告の文書でございました。これらのことについて一応報告というかたちでこの場で説明させていただきました。以上でございます。

○議長（千葉 隆君） それでは、このことについて何か質疑はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） それではないということで。そのほか事務局のほうからは。

○議会事務局長（三澤 聡君） ありません。

○議長（千葉 隆君） ないようですので、本日の全員協議会はこれで終了します。どうもご苦勞様でした。

〔閉会 午前10時50分〕